

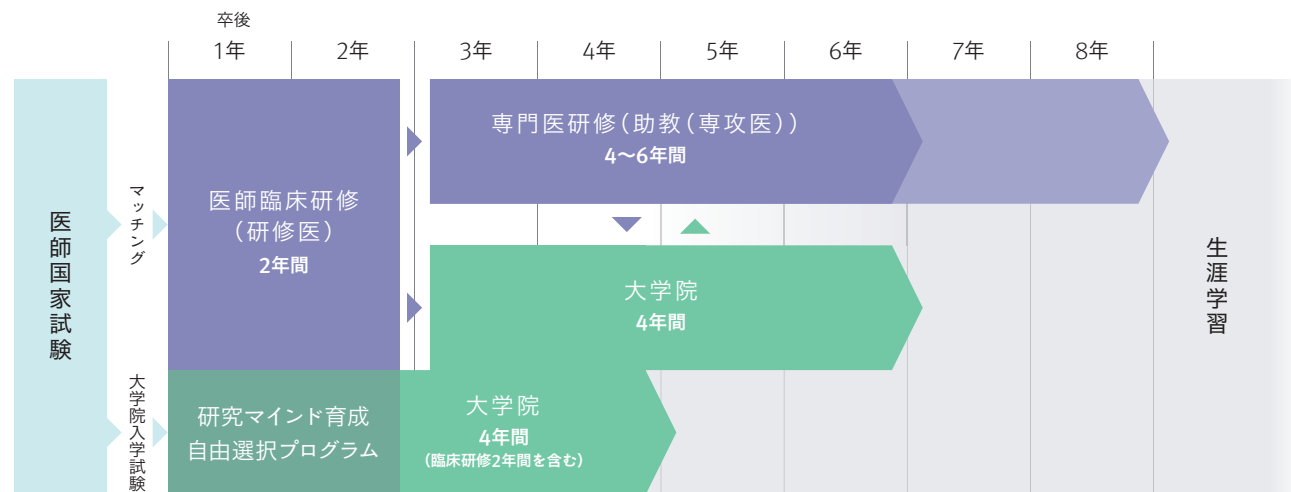
# 卒後の多彩なキャリア

## 埼玉医科大学病院群が 未来を切り拓く研修環境を提供

埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センターおよび埼玉医科大学国際医療センターの3病院からなる埼玉医科大学病院群は、総病床数約2,700を有する国内でも有数の一大病院群です。3病院とも圧倒的な症例数を誇りますが、各病院がそれぞれ特徴ある診療体制を有するとともに、研究機関でもあります。社会から求められるすぐれた臨床医の育成を最重要課題と位置づけ、基幹型病院としてさまざまな医師臨床研修および専門医研修プログラムを用意しています。3病院の研修を統括する「病院群臨床研修センター」の下で各病院の「臨床研修センター」によるきめ細やかな指導により、多岐にわたる臨床研修が実施されています。

医師臨床研修プログラムでは、3病院共通で研修を行う「3病院自由選択プログラム」を中心に、社会人大学院生として大学院も同時にスタートする「研究マインド育成自由選択プログラム」や、各病院独自のプログラムも用意しています。専門医研修希望者は、医師臨床研修修了後に常勤医（助教）として継続的に研修を行うことで効率よく専門医の資格取得が可能です。また、他大学を含めた広範囲な研修が可能なほか、研究に取り組むこともできます。その先には、国内外へ留学する、大学の教員になる、連携病院の勤務医または開業して地域医療に貢献するなどの多彩な選択肢があります。また、ワークライフバランスを考慮した常勤（時短）勤務で専門医取得も可能で、埼玉医科大学ならではの多彩なキャリアデザインを描くことができます。

### 卒業後研修・キャリアパス



### 医師臨床研修

#### 埼玉医科大学病院群を最大限に活かす 3病院自由選択プログラム

2年間の医師臨床研修中に、特徴の異なる埼玉医科大学の3つのグループ病院から希望の診療科を組み合わせ、ローテーションできる研修プログラムです。研修する診療科が決まった後も、「この科を続けたい」「あの科が気になってきた」というときは変更することも可能。本当に学びたい研修先に行けるようにカスタマイズできるため人気があります。

### 将来の道

#### 埼玉医科大学病院群でつかむ 多彩なキャリアパス

臨床医として広く学ぶ、一つの道を究める、地域医療に進む、教育に生きる、世界に羽ばたく、研究で名を上げる、様々な未来が皆さんを待っています。これからの若きリーダーとして活躍する確かな道を埼玉医科大学病院群で見つけてください。

## 研修医インタビュー

From Junior Resident



### 積み上げた経験は「糧」になる。 一人の社会人という自覚を持って取り組んでいます

3病院自由選択プログラムでは、埼玉医科大学病院群の3病院から研修する科を選び2年間かけてローテーションします。それぞれ特徴や専門分野に特化した科があるので、将来の進路を考えている研修医にとって、自分が学びたい内容を3病院から自由を選ぶことは大きなメリットです。他病院に比べて選択肢が多い。僕は3病院の中で内科を中心にローテーションする予定です。埼玉県西部の地域医療を埼玉医科大学病院が担っているの、症例数も多いし、さまざまな患者さんが受診されています。多くの症例を経験できることは、今後地域医療に携わる上で、必ず役に立つと思います。気をつけているのは、日々の積み重ね。知識不足を感じたら、学生時代の勉強を振り返るようにしています。あとは、これから研修する科を回っている同期や先輩方にアドバイスをもらってファイルしたり。研修のことを話し合える仲間存在は大きいですね。研修医2年目の今、将来の展望があれば、日頃の業務をしっかりとできているのか不安もあります。学生と違い研修医になれば責任感が問われるとある程度覚悟していましたが、キラキラした医師像のイメージの反面、責任を伴うことの重みは想像以上でした。研修医には上級医という指導医師がつきます。検査結果を議論し、どうアセスメントをして治療を行うかを一緒に決めます。上級医は研修医の方針に対して助言をしてくれるので、受け身にならずに自分の意見をしっかりと持って相談することが自分の成長につながると感じています。1ヵ月以上の長いスパンで同じ科にいと、患者さんが退院されるのを見届けられることもできます。やはり患者さんが元気になったときに一番やりがいを感じますね。



埼玉医科大学病院 研修医 船登 智将 先生(取材時)

新潟県出身。学生時代は、部活動で小学校の頃から続けているバスケットボールに力を入れていた。今でもその頃の仲間とのつながりは続いている。埼玉医科大学病院は卒業生が多く、研修していても心強い。定期的集まって交流を深めている。

# O.B.・O.G.メッセージ

多彩なフィールドで  
目指す医療にまい進する卒業生

教科書だけではない。  
先生方の生の声で、患者さんから学ぶことの  
大切さを教えてもらいました



埼玉医科大学病院 小児科・新生児科所属

## 寛 紘子 先生

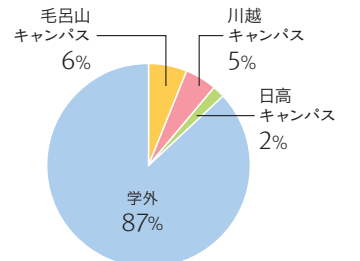
**私**の勤務する小児科・新生児科は、25週、500グラムからの新生児が対象です。また、呼吸障害や早産児の分娩に立ち会ったり、蘇生をしたり、そうしたハイリスク新生児の治療するのが主な仕事です。他病院からも患者さんがやってきます。医師となった初めから成育医療関係を希望していました。小児科、産婦人科、小児外科かを悩み、小児科に。中でも赤ちゃんがすごく好きで、生まれるそのときに自分に関わることでその子たちの未来が変わることに、外科的な要素も含めてやりがいを感じたんです。スムーズな出産が難しい新生児が増えているので、そのお手伝いができたらいいなと。蘇生や出産は緊張感ある現場です。まず、赤ちゃんの健康状態が最優先ですが、お母さんや家族との関係性も重要な要素です。

部活動は水泳部。学業優先で部活動はあまり肯定的でなかった時代、4年次の学生会長時に部活動について当時の学長に直訴しに行ったことも。6年次には国試対策委員長。初期研修2年、小児科後期研修を3年行い、その間に産後を経験。2012年に小児科専門医、2015年に周産期新生児専門医を取得。2016年博士(医学)取得。

そして、社会的な面でも考慮すべきことがあることにも注意しなければならない。医学だけでなく福祉にも目を向け、生活環境としての家庭全体を考えること、常に家族の意見も忘れないように気をつけています。自分なりの倫理観もないと務まりません。学生時代には倫理の話や患者さんがどれだけ大切なのかを、深く学んだ印象があります。それに、先生方と学生との距離が近い学校なので、自分たちが体験していることを生の声で一生懸命に教えてくれたのだと思います。その校風は今も続いているのではないのでしょうか。専門性が重要視される時代になりましたが、専門医も医学だけでなく、より多面的な知識と広い視野を持つべきじゃないかと思います。私自身は今、「遺伝」について興味がありますね。その専門医を取りたいです。そのためには3年くらいの研修が必要ですけど、自分が関わっている赤ちゃんにそういう子がすごく多いので、今の自分の仕事に役立てるためにも、もう少し勉強しようと思っています。

## 卒業生の動向

1978年に初めて卒業生を世に送り出してから、今日までに4,385名が卒業した。卒業後は本学の大学病院・総合医療センター・国際医療センター等の関連施設や、全国各地のさまざまな医療機関で活躍している。



	毛呂山 キャンパス	川越 キャンパス	日高 キャンパス
教授	12	2	5
准教授	9	6	5
講師	20	25	10
助教	183	152	65
研修医	46	45	4
大学院生	25 (23)	10 (9)	9 (8)

( )は研修医を含む社会人入学者数

保健医療学部	
教授	2
学外	
開業	1,010
他大学附属病院・ 国公立基幹病院他	2,681

令和3年現在

## 卒業生の進路

本年(第115回)の  
医師国家試験合格者の進路は以下の通り

埼玉医科大学病院	16
埼玉医科大学総合医療センター	19
埼玉医科大学国際医療センター	2
他大学附属病院	39
研修指定病院(大学以外)	46
計	122(名)

## 同窓会

同窓会活動の目的と現状

同窓会は「会員相互の親睦を図り、会員の福利厚生、学術の向上、および母校の充実発展に寄与すること」を目的に設立された。活動は、卒業生のみならず、学生に対しても学生生活がより充実したものになるよう幅広く支援を行っている。一例を挙げると、大学祭や東日本医科学生総合体育大会等の学外活動への補助や国家試験対策支援、さらには学生との懇親の場を設けたり等、学生の皆さんとの接点を多くし、対話ができる環境づくりをしている。学内に残る約600名の卒業生が温かく在校生をサポートしている。

いろいろな人と連携すること、  
それは医師になっても大事なことです



部活動は野球部で4年次にはキャプテン。かけもちで軽音楽部にも所属していた。フュージョン系のコピーバンドでベースを担当。仲間と軽井沢までよくドライブもした。勉強もしっかり、試験1ヵ月くらい前からみんなで集まってかなり真剣に取り組んでいた。1990年博士(医学)取得。

私がこれから取り組むべき課題は、在宅医療を担う体制づくり。簡単には解決しませんが、危機感を共有することから始め、より具体的な行動を意識して取り組んでいます。その中で今力を入れているのが多職種連携。医師、看護師、理学療法士、薬剤師などの病院スタッフと、介護関係者、福祉関係者、行政関係者。それぞれフィールドも価値観も違います。でも、これがつながらないと地域と医療がつながらない。そこをどう解決するかが自分の役割だと思っています。学生時代、仲間とは勉強する時もプライベートもほぼ一緒にいましたね。実習も楽しかった。埼玉医科大学では、互いの存在を意識して一緒にやっていく、落ちこぼれそうな人がいると皆で助けるという、温かいものがありました。人の痛みや気持ちがわかる人がよく育っていると思います。いろいろな人と連携すること、それは医師になっても大事なことです。さまざまな背景がある中で同じ目的を目指す、同級生になった人たちがお互いを助け合って一緒に医者になる、という思い。これは埼玉医科大学の宝だと思います。

西神奈川ヘルスケアクリニック 院長

## 赤羽 重樹 先生

**専**門は内科全般です。大学では内分泌代謝、高血圧、糖尿病が中心、大学の出向先の病院では、消化器、呼吸器を担当し、その後、救急にも携わりました。2007年に「西神奈川ヘルスケアクリニック」を開業し、外来診療と訪問診療の2つの面から地域医療に取り組んでいます。内分泌代謝、呼吸器を標榜していますが、総合内科としての機能が主体になっています。大学時代の出向先の病院で胃ろう造設に携わる機会が多くあった中で、退院しても栄養管理する先が地域にないことを課題に感じ、自分が訪問診療を担当できれば病院の医療が地域でも継続できる。そんな想いからの開業でした。訪問診療を希望する方は、介護する家族にある程度の力があることも必要です。力とは、気持ち、経済力、理解力、健康維持、時間捻出、空間確保。いろいろなものを包括しながら、でも需要は増えているんです。

# 6年一貫・統合教育

コース&ユニット制で  
総合的に医学を学ぶ

従来の医学部では、内科学、外科学というように、学問体系ごとに医学を学んできました。これを臓器別・系統別に統合し直したものが「6年一貫・統合教育」です。医学を学問体系ごとではなく統合的に学習することにより、医師となり患者さんに接した際、内科、外科等にとらわれることなく、多角的に診る目を養うことができます。また、増加の一途をたどる医学・医療の知識、臨床医として必要な技能と態度を効果的に修得することが可能です。たとえば肝臓について学ぶときは、病理学、内科学、外科学というように、その臓器を中心に

さまざまな角度からアプローチしていきます。そして、ひとつの臓器・系統についてスパイラルを描くように6年間を通して繰り返し学ぶことにより、効率的に知識の集積をし、それを医学に応用する能力を身につけることができます。「疾患を診断し、治療する」という実際の臨床現場を考えれば、学問体系で学ぶよりもはるかに実践的かつ現実的な学び方です。埼玉医科大学では、この「6年一貫・統合教育」を毎年進化させ、常に最善のカリキュラムで学生の学ぶ意欲に応えています。



## [6年一貫・統合教育]によるカリキュラム (2016年度1年生から)

カリキュラムポリシー(抜粋)

1. 自己を律し、自ら成長し続けることができる成熟した人格形成を促すカリキュラム
2. 医学の基礎となる知識と概念を修得するリベラルアーツを含むカリキュラム
3. 医学に関する知識の修得と概念を理解するカリキュラム
4. 実地臨床の場で医学を実践する力を養成するカリキュラム
5. 高度な医学・医療を目指して前進し続ける意欲と意志力を養成するカリキュラム
6. 質の高い医療を社会で実践するための態度と技能を養成するカリキュラム



※CC: Clinical Clerkship

## 資料 4

## すぐれた臨床医を育む特色ある [9つのコース]

### 1 細胞生物学

生命現象の基本は細胞の活動を通して理解されます。分子レベルから人体全体のシステムレベルまで、さまざまな段階の生物現象を理解し、この後の基礎医学、臨床医学の基本を築いていきます。

### 2 人体の構造と機能

人体の構造と機能を学習するうえで基幹となる概念を理解します。臨床医学を学ぶための基盤として、人体の各器官系の構造と機能について理解し、また、遺伝に関する基礎的な知識を修得します。

### 3 医科学への道すじ

入学前に学んだ自然科学の基礎知識を医学に適用し、医科学を学ぶ上で必要な方法と態度を修得します。さらに、論理的な思考と表現の技術を身につけ、自らテーマを決めて深く掘り下げることによって、自己学習のスキルを高めていきます。

### 4 人体の基礎科学

自然科学的な思考は医師にとって必須で、早い時期からの修得が後の基礎医学、病気の基礎的理解、臨床医学の学習に重要です。物理学と化学の視点から、人体機能に関係の深いテーマについて実験を行い、データの統計処理やまとめを経験することで科学的理解のプロセスを修得します。

### 5 良医への道

1年次から4年次まで段階的に続く重要なコースです。すぐれた臨床医となるために、豊かな人間性、幅広い社会的・国際的視野、探求心と科学的思考能力を備えた医師となる素地(プロフェッショナルリズム)を養います。また、臨床推論力・臨床技能も修得していただきます。

### 6 病気の基礎

基礎医学から、臨床医学や社会医学への橋渡しとして設定されているコースです。臨床医学や社会医学を学んでいくうえで必要な基礎について学びます。主に病理学と薬理学の総論的事項、感染、免疫、疫学を学び、「ヒトの病気」コースへ発展させます。

### 7 臨床実習

外来、病棟など実際の臨床現場で、医師や他職種が行う医療行為や、各診療科における特徴的な手技・検査の場に参加します。実習を通して、医学生として備えておくべき基本的な臨床技能をはじめ、知識・技能・態度を修得していただきます。

### 8 ヒトの病気

臨床医学の基礎について学びます。4年次3学期からの臨床実習を円滑に行うために、診療に関する基本的な事項や臓器別ユニットで各分野の疾患について基本的な知識を学び、最後に臓器横断的な学習を行うことで、臨床医学の基礎的な知識・考え方を修得します。

### 9 社会と医学

常に社会的視野を持ち、医療・医学を通して国民の公衆衛生の向上に資するための知識を修得します。

### 研究医養成プログラム

医学部3、4、5、6年生を対象に「研究医養成プログラム」を設けています。大学院で履修すべき授業科目の単位の前倒し取得や課外学習プログラムへの参加のほか、慶應義塾大学や女子栄養大学と連携した研究活動など、様々なメリットが用意されています。海外留学や奨学金制度もあります。初期臨床研修における「研究マインド育成自由選択プログラム」と綿密な連携をとり、博士の学位のみならず専門医の資格取得を考慮したフレキシブルな運用を行っています。

## 臨床実習に関する誓約・同意書

埼玉医科大学学長 殿  
埼玉医科大学病院病院長 殿  
総合医療センター病院長 殿  
国際医療センター病院長 殿

私は診療参加型臨床実習（以下、実習）のオリエンテーションにおいて、以下の内容について指導教員より十分な説明を受け、理解・同意いたしましたので署名いたします。これに違反した場合には、学則 29 条による懲戒を受けます。

1. 「臨床実習ガイドブック」に則って実習を行います。実習の内容は、病院の診療上の必要性や現実的制約によって、妥当な範囲で変更することがあることは了解しました。
2. 医行為は Student Doctor（スチューデントドクター）として単独の自己判断で行わず、必ず指導医の指導・監督の下に行います。
3. 担当する患者には、指導医の紹介の下に Student Doctor（スチューデントドクター）であることを告げ、指導医とともに実習に対する患者の同意を得ます。
4. 基本的な診察手技の習得に当たっては、自らも被検者にもなることを心掛けます。
5. 患者などの保有する病原体が血液、排泄物、分泌物を介して自らに感染する危険性およびその予防法について、指導医より事前に十分な説明を受けます。
6. 病棟の管理規則ならびに指導医または病棟職員による指導に従い、感染防止を含めた医療安全の確保のために、常に十分な注意を払います。
7. 実習中の事故（針刺し事故など）については、病院職員の職務遂行中の事故に準じて取り扱われることを了解しました。
8. 患者の個人情報保護に常に留意し、実習に際して知り得た患者情報を決して他に漏らしません。また自らの実習内容に関係のない情報を閲覧することも決していたしません。
9. 電子カルテの利用に際し「埼玉医科大学病院（総合医療センター、国際医療センター）において実習等を行なう学生の電子診療録利用に関する規則」を遵守し、原則として診療情報を印刷いたしません。
10. 診療部長は、学生が実習で学習するのに相応しくないと認められた場合には、学長ならびに当該病院長と協議して、実習への参加を取り消すことができる。

令和 年 月 日

同意人 住所： \_\_\_\_\_

学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

## 「オール埼玉医大 研究の日」プログラム

日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）

会場：毛呂山キャンパス カタロスタワー 1 階 クロード・ベルナルホール

川越キャンパス 本館 5 階 小講堂（テレビ中継）

日高キャンパス 教育研究棟 2 階 大講堂（テレビ中継）

学内 LIVE 配信：<http://smswww/streaming>

13:00～13:05 開会挨拶 別所 正美 学長

司会進行：微生物学 村上 孝 教授

### 1) 第 6 回学部学生による研究発表会

司会進行：微生物学 村上 孝 教授

13:05～13:10 開会挨拶 村越 隆之 医学部長

13:10～14:15 座長：病理学 佐々木 惇 教授／生理学 三輪 尚史 教授

\* 学生の発表 10 分 討論 5 分

1. 医学部 3 年 相羽 弘貴

「サルコイドーシスにおける CD26 陽性 T 細胞サブセットの病理学的解析」

2. 医学部 3 年 三上 将生

「ラット脳膜標品における新規抗精神病薬の 5-HT<sub>1A</sub> 受容体としての作用：

「[3 5 S]GTP $\gamma$ S 結合を用いた薬理学的検討」

3. 佐々木 惇 教授（研究医養成プログラム運営委員会委員長）

「2020 年研究医養成プログラム紹介」

14:15～14:20 閉会挨拶 森 茂久 副学長

14:20～14:30 休憩：VTR 放映

### 2) 大学院生博士課程中間発表

司会進行 座長：片桐 岳信 医学研究センター長

14:30～15:50（発表 10 分 討論 5 分）

1. 井川 佑郎 眼科学 毛呂山眼科学

「自動視野計 imo(AIZE)(10-2)とハンフリー(SITA-Standard)(10-2)の比較」

2. 竹内 優太 外科学 川越小児外科学

「神経芽腫自然発症マウスモデルを用いた免疫学的背景の解析と治療開発」

3. 戸叶 美枝子 内科学 毛呂山神経内科学

「物質 A はエフェクターCD4 陽性 T 細胞に作用し IL-17A 産生を介して好中球性炎症を惹起する」

4. 増本 棕一 整形外科学 毛呂山整形外科学

「大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の後方視的研究」

5. 松本 佳祐 医学教育学 毛呂山医学教育学

「地域 2 次救急における救急再搬送のリスク検討」

15:50～16:00 休憩：VTR 放映

### 3) 特別講演

司会進行：ゲノム基礎医学 奥田 晶彦 教授

16:00～16:05 趣旨説明 司会 奥田 晶彦教授

16:05～17:00 座長：微生物学 村上 孝 教授

特別講演 「いまの時期だからー COVID19 のこと」

講演 1：総合医療センター 総合診療内科 岡 秀昭 教授

講演 2：埼玉医科大学 社会医学 亀井 美登里 教授

17:00～17:05 閉会挨拶 松下 祥 副学長

## Part III 教員の基本姿勢

1. 基本姿勢の概要 「教員の基本的姿勢」教員便覧総論 P8 を参照
2. 教員に望まれる行動 「教員の倫理規定，行動規範」教員便覧総論 P61 を参照。

以下該当箇所抜粋。

### 2. 教員の倫理規定、行動規範など

#### (5) 教員に望まれる行動指針（2009.9.9、学務委員会）

埼玉医科大学では、すべての教員は教育に参加することが求められている。すなわち、本学では「教育」が教員にとって最も重要な職務である。

言うまでもなく、本学の建学の理念は以下の3点である。

- 第1. 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きるすぐれた実地臨床医家の育成
- 第2. 自らが考え、求め、努め、以て自らの生長を主体的に展開し得る人間の育成
- 第3. 師弟同行の学風の育成

上記の建学の理念で注目すべきは、3つの理念すべてにおいて「育成＝立派に育て上げること（広辞苑）」を掲げている点である。建学の理念は、本学が機関決定したものであり、本学における全ての活動は、この理念の実現を目的として行われなければならない。これが、本学では教員にとって「教育」が最も重要な職務である所以である。

言い換えると、本学ではすべての教員は教育者であることが求められている。したがって、本学の教員には自ずと教育者としてあるべき知識、技能、態度、そして行動が要求される。特に、「行動」は知識、技能、態度が集約された形として現れるものであるから、教員にとって「教育者としてあるべき行動」を心がけることが極めて重要である。「教育者としてあるべき行動」については、教員一人ひとりが常に考え、自己点検を行い、正していかなければならない。その際、必ず目を通さなければいけないものとして、「埼玉医科大学倫理綱領 1. 教員の倫理綱領」がある。また、参考とすべきものとして以下のものがある。

1. 科学者の行動規範（日本学術会議）
2. 医師の職業倫理指針（改訂版）（日本医師会）

現在の日本の6年制の医学部は、「大学（university、college）」と「高等専門職業教育大学院（medical school や law school）」という二面性をもっている。まず、高等学校卒業生が入学するのであるから「大学」としての目的は重要である。

医学部が大学として目指すべきことは本学の建学の理念の、

第2. 自らが考え、求め、努め、以て自らの生長を主体的に展開し得る人間の育成

第3. 師弟同行の学風の育成

に述べられている。

「人間の育成」と「学風の育成」のもつ意味は特に大きく深い。

「大学」の目的は人格の陶冶<sup>\*1</sup>と文明の継承・創造である。「人格の陶冶」が初めにあることの意味は医療人を社会に送り出す大学ではとくに大切である。「文明の継承」は知識・概念を伝えることであり、「文明の創造」は研究成果を出すことはもちろん、卒業生が社会に大きなそして新たな貢献をしていくこと、までも含まれる。したがって大学の目的が十分に達成されるということは教員が成果をあげるだけではなく、卒業生が教員よりも様々な面で優れたものになっていくことである。

人格を陶冶するのは容易なことではなく、まず教員が自らを陶冶するしかない（優れた他者を見て学ぶことによって。学生も同様にして学ぶ。）。文明の創造も教員個人に依存する。文明の継承は「教員自らが高いレベルの知識・概念をもち」、「それをうまく学生達に伝え、好奇心を触発すること」によって可能となる。前者は教員個人の努力によるしかないが、後者はそのスキルを教員同士が「共に教え、共に学ぶ」ことによって向上可能となる。

「高等専門職業教育機関としての医学部」の目的はまさに医療の専門家の育成であり、本学の建学の理念の、

第1. 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる すぐれた実地臨床医家の育成

に述べられている。「すぐれた」のもつ意味もまた大きく深い。

\*1 いろいろな経験をさせて才能・素質などを役に立つ一人前に育て上げること。



## 学生の確保の見通し等を記載した書類

本学では、学校推薦型選抜、一般選抜（前期・後期）、大学入学共通テスト利用選抜等、様々な選抜区分を設けております。以下は入学志願状況等となっており、入学定員の増員を行うにあたり、十分な学生の確保は可能です。なお、平成 31 年度入学試験より、地域枠の学生は学校推薦型選抜（埼玉県地域枠）で選考しています。

（単位：人）

入試年度	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)
定員 (A)	128	129	130	130	130
志願者数	5,296	5,569	5,000	5,179	4,389
受験者数	4,647	5,010	4,579	4,725	3,769
合格者数	232	242	238	249	232
入学者数 (B)	130	129	130	130	130
定員超過率 (B/A)	101.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

以 上

# 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ベッショ マサミ 別所 正美 <平成23年8月>		博士 (医学)		埼玉医科大学 学長 (平成23年8月1日～現在)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。